

令和 5年度 杉並区施策評価シートⅠ

(00039)

施策	04	地域の魅力あふれる多心型まちづくり
目標	02	多様な魅力と交流が生まれ、にぎわいのある快適なまち
施策担当課	市街地整備課	関係課 都市整備部管理課

施策目標	荻窪駅周辺において、歴史・文化等の潜在能力を十分生かし、にぎわいと住環境が調和したまちづくりが進んでいます。 各区域の特色や魅力を生かしたまちづくりが進み、誰にとっても居心地がよく、にぎわいがあふれ、出かけたくなるまちになっています。 区民等による主体的なまちづくり活動が活発に行われることにより、住宅都市としての魅力や価値が更に高まっています。
------	---

活動指標		成果指標	
指標名（１）	荻窪駅周辺都市再生事業に関する懇談会・意見交換会等の開催数	指標名（１）	普段利用する駅周辺の満足度
算式・指標説明		算式・指標説明	区民意向調査による【区民】
指標名（２）	駅周辺まちづくりに関する懇談会・意見交換会等の開催数	指標名（２）	自宅周辺のまちづくりに満足する区民の割合
算式・指標説明		算式・指標説明	区民意向調査による【区民】
指標名（３）		指標名（３）	
算式・指標説明		算式・指標説明	
指標名（４）		指標名（４）	
算式・指標説明		算式・指標説明	
		指標名（５）	
		算式・指標説明	
		指標名（６）	
		算式・指標説明	

区分		単位	令和 2年度	令和 3年度		令和 4年度		目標値	目標年度
			実績	計画	実績	計画 （目標値）	実績		
活動指標	活動指標（１）	1 回	6	0	6	0	13		
	活動指標（２）	2 回	6	5	7	5	6		
	活動指標（３）	3							
	活動指標（４）	4							
成果指標	成果指標（１）	5 %	72.6	0.0	71.0	73.3	72.4	76.0%	令和12年度
	成果指標（２）	6 %	79.1	0.0	78.7	79.6	78.6	82.0%	令和12年度
	成果指標（３）	7							
	成果指標（４）	8							
	成果指標（５）	9							
	成果指標（６）	10							
施策コスト	事業費	11 千円	54,436	46,208	35,736	33,479	21,629	特記事項 予算執行率が90%未満となった主な理由は、西荻窪駅周辺まちづくり懇談会運営等支援業務委託（令和4年度）の委託内容が変わり、委託費が大幅に減少したことが挙げられます。	
	人件費	12 千円	102,603	101,300	103,622	105,709	115,630		
	総事業費 （11+12）	13 千円	157,039	147,508	139,358	139,188	137,259		
	国・都からの補助金等	14 千円	2,270	0	0	0	2,409		
	総事業費伸び率 （計画、実績の対前年度比）	15 %			11.3	5.6	1.5		
	人件費比率 （12÷13）	16 %	65.3	68.7	74.4	75.9	84.2		

課題・分析	<p>誰にとっても、魅力的で居心地が良く、出かけたくなるまちづくりを推進するため、区民等による主体的なまちづくりの機運を醸成する必要があります。</p> <p>区内最大の交通結節点である荻窪駅周辺では、令和6年度の（仮称）荻外荘公園の開園に向け、回遊性向上やまちづくりの機運醸成等を図る必要があります。</p> <p>各地域の課題解決や住環境維持のために、住民発意によるまちづくりの取組の増加が今後も予想されます。そのため、地区計画などの各種まちづくり制度やエリアマネジメントの仕組みを活用しながら、地域の特性を踏まえつつまちづくりの課題解決や魅力向上が必要と考えます。</p> <p>まちづくり団体活動助成の申請は、計画値に近い数値で推移しており、機運を高めることができています。また、多くの団体が継続して活動を行っていますが、次の段階へステップアップを目指すための取り組みが必要となっています。</p>				
施策の成果	<p>荻窪駅周辺では、（仮称）荻外荘公園開園をきっかけとした魅力向上、回遊性向上等に向けた事業を行うため都市再生整備計画を策定するとともに、普及啓発として、まちづくりニュースの配布、地域ロゴマーク周知イベント及びオープンハウス型懇談会を開催しました。阿佐ヶ谷駅北東地区では「緩やかな協議の場（エリアプラットフォーム）」の構築を行いました。中杉通り沿道では、道路管理者や周辺町会等と課題共有し、意見交換を行いました。西荻窪駅周辺では、懇談会等の今後の進め方や内容検討を行いました。ハード・ソフト連携による駅周辺まちづくりでは、庁内で地域課題等について情報共有を図り、課題解決に向けた取組を進めました。富士見ヶ丘駅周辺では、庁内関係部署との調整やまちづくり協議会との意見交換を行い、令和5年度方針策定に向けた取組を進めました。</p> <p>「阿佐ヶ谷駅北東地区地区計画」など、既決定の地区計画区域内において提出された建築計画が地区計画の制限に適合しているか確認することにより、良好な住環境の形成を誘導しました。</p> <p>制度開始からこれまで、多くのまちづくり活動団体への支援を行うとともに、その後の活動に対してもコンサルタント派遣による支援などを行っており、現在も多くの団体が継続して活動していることは、区民等主体のまちづくり活動に大きな成果があると考えています。</p>				
<div>改善・見直しの方向</div> <div>中長期</div>	<table border="1"> <tr> <th data-bbox="116 824 379 857">今後の施策の方向性</th><th data-bbox="379 824 1559 857">現状維持</th></tr> <tr> <td data-bbox="116 1014 379 1048">今後の進め方</td><td data-bbox="379 869 1559 1205"> <p>誰にとっても、魅力的で居心地が良く、出かけたくなるまちづくりを推進するため、区民等による主体的なまちづくりの機運を醸成していきます。</p> <p>まちづくりの施策では、今後も地域からのまちづくりに対する提案や機運の高まりを的確にとらえ、地区計画制度等を活用したまちづくりの推進を図るなど、地域特性を踏まえた土地利用の実現を目指します。（仮称）荻外荘公園の開園に向けた総合的・一体的な施策推進のため、令和4年度に策定した都市再生整備計画に基づき、令和5、6、7年度の3年間で回遊性の向上に関する取組を計画的に実施します。今年度から新たに行う阿佐ヶ谷駅等周辺まちづくりにおける対話の場において課題の抽出・分析や対応の方向性等に関して区民と協働して検討するプロセス・体制を構築し、対話の場での意見等の実現に向けた取組や促進を行います。公民連携まちづくりでは、エリアマネジメントの仕組みを活用しながら、未来ビジョンの実現に向け、上記対話の場等との連携もを行い、体制・エリア・活動等の拡大をし、魅力あるまちづくりを目指します。富士見ヶ丘駅周辺まちづくりについては、引き続き、丁寧に地域の意見を聴取しながら、まちづくり方針で掲げるまちの将来像の実現に向けた個別具体の取組を進めます。まちづくり活動団体への支援は、活動助成金やコンサルタント派遣だけでなく、区民主体のまちづくり活動の活性化を図るため、新たな支援策の検討を進めます。</p> </td></tr> </table>	今後の施策の方向性	現状維持	今後の進め方	<p>誰にとっても、魅力的で居心地が良く、出かけたくなるまちづくりを推進するため、区民等による主体的なまちづくりの機運を醸成していきます。</p> <p>まちづくりの施策では、今後も地域からのまちづくりに対する提案や機運の高まりを的確にとらえ、地区計画制度等を活用したまちづくりの推進を図るなど、地域特性を踏まえた土地利用の実現を目指します。（仮称）荻外荘公園の開園に向けた総合的・一体的な施策推進のため、令和4年度に策定した都市再生整備計画に基づき、令和5、6、7年度の3年間で回遊性の向上に関する取組を計画的に実施します。今年度から新たに行う阿佐ヶ谷駅等周辺まちづくりにおける対話の場において課題の抽出・分析や対応の方向性等に関して区民と協働して検討するプロセス・体制を構築し、対話の場での意見等の実現に向けた取組や促進を行います。公民連携まちづくりでは、エリアマネジメントの仕組みを活用しながら、未来ビジョンの実現に向け、上記対話の場等との連携もを行い、体制・エリア・活動等の拡大をし、魅力あるまちづくりを目指します。富士見ヶ丘駅周辺まちづくりについては、引き続き、丁寧に地域の意見を聴取しながら、まちづくり方針で掲げるまちの将来像の実現に向けた個別具体の取組を進めます。まちづくり活動団体への支援は、活動助成金やコンサルタント派遣だけでなく、区民主体のまちづくり活動の活性化を図るため、新たな支援策の検討を進めます。</p>
今後の施策の方向性	現状維持				
今後の進め方	<p>誰にとっても、魅力的で居心地が良く、出かけたくなるまちづくりを推進するため、区民等による主体的なまちづくりの機運を醸成していきます。</p> <p>まちづくりの施策では、今後も地域からのまちづくりに対する提案や機運の高まりを的確にとらえ、地区計画制度等を活用したまちづくりの推進を図るなど、地域特性を踏まえた土地利用の実現を目指します。（仮称）荻外荘公園の開園に向けた総合的・一体的な施策推進のため、令和4年度に策定した都市再生整備計画に基づき、令和5、6、7年度の3年間で回遊性の向上に関する取組を計画的に実施します。今年度から新たに行う阿佐ヶ谷駅等周辺まちづくりにおける対話の場において課題の抽出・分析や対応の方向性等に関して区民と協働して検討するプロセス・体制を構築し、対話の場での意見等の実現に向けた取組や促進を行います。公民連携まちづくりでは、エリアマネジメントの仕組みを活用しながら、未来ビジョンの実現に向け、上記対話の場等との連携もを行い、体制・エリア・活動等の拡大をし、魅力あるまちづくりを目指します。富士見ヶ丘駅周辺まちづくりについては、引き続き、丁寧に地域の意見を聴取しながら、まちづくり方針で掲げるまちの将来像の実現に向けた個別具体の取組を進めます。まちづくり活動団体への支援は、活動助成金やコンサルタント派遣だけでなく、区民主体のまちづくり活動の活性化を図るため、新たな支援策の検討を進めます。</p>				

令和 5年度 杉並区施策評価シートⅡ（施策を構成する事務事業）

【施策 04】【施策名称 地域の魅力あふれる多心型まちづくり】 金額の単位は千円 (00039)

整理番号	事務事業名称	実行計画事業	主要事業	令和 4年度 事業費	人件費	総事業費	施策から見た 事業の方向性
1 354	地区整備計画			830	35,019	35,849	現状維持
2 357	まちづくり活動の支援			657	6,331	6,988	現状維持
3 360	都市再生事業			9,668	37,681	47,349	推進（拡充）
4 361	多心型まちづくりの推進			10,474	36,599	47,073	現状維持
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
合計				21,629	115,630	137,259	

施策を構成する 事務事業に関する特記事項	
-------------------------	--